

## ワクチン接種を受ける手順

※接種を想定しているワクチンは2回接種が必要です。(2回とも同じワクチンを接種する必要があります)

- ① 自宅(住民票所在地)に『接種券』・『予診票』が届く ※65歳以上の人には4月下旬以降に発送予定です。それ以外の人は未定です。
  - ② 接種できる場所を確認し予約(予約がないと接種できません)
  - ③ 『接種券』・『予診票』・『本人確認書類』を持って接種場所へ
- ← ※約3週間後に2回目の接種(初回接種と同じ手順)
- ワクチン接種

### 接種を行う場所

- できるだけ、かかりつけ医での接種をお願いします。(市外の医療機関でも接種を受けることができます)
- かかりつけ医がない場合は、後日お知らせする医療機関や集団接種会場から選んで予約をし、接種を受けてください。

### 接種を受けた後の注意点

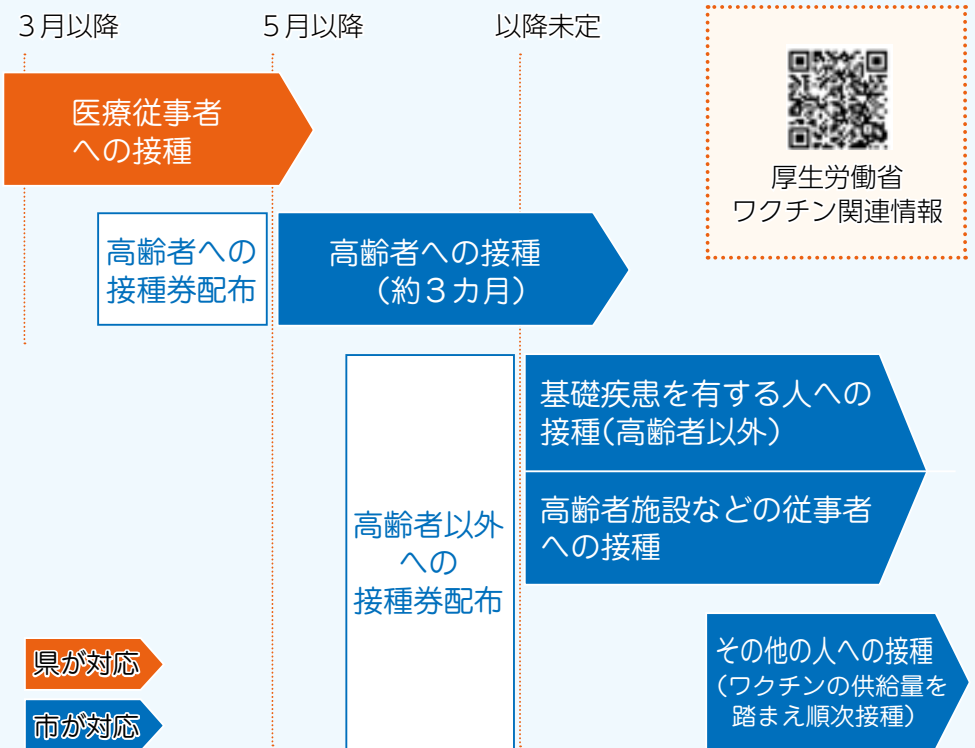
- ワクチンの接種後は、15分以上(過去にアナフィラキシーを含む重度のアレルギー症状を起こしたり、失神を起こしたり、気分が悪くなったことなどがある人は30分以上)、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副作用に対応できません)
- 注射した部分は清潔に保ってください。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、当日の激しい運動は控えてください。

## 新型コロナウイルス ワクチン 接種についてのお知らせ

新型コロナウイルスワクチンは、確保できる量に限りがあり、供給も順次行われる見込みであることから、次のスケジュールのとおり接種できるよう準備を進めています。ワクチンの供給量により、スケジュールが変更される可能性もあるため、市ウェブサイトなどで随時お知らせします。

## ワクチン接種の接種順位(予定)

※ワクチンの供給が遅れているため、2月号でお知らせしたスケジュールから変更になっています。また、接種順位の細分化など今後変更される場合があります。



問 感染症対策室 ☎21・1180

## 新型コロナウイルスワクチンについて知ってほしいこと

### 新型コロナウイルスワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナウイルスワクチンは、2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。(インフルエンザワクチンの有効性は40～60%)

### 新型コロナウイルスワクチンは、あなた自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、国内では令和3年1月末までに6000人以上の人が亡くなり、3万人以上の人が入院されています。特效薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの人に接種を受けていただくことにより、重傷者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されています。

### 予防接種を受けることができない人

- 発熱している人(原則37.5度以上。37.5度未満の場合でも、平時の体温と比べて発熱と判断される場合があります)
- 重い急性疾患にかかっている人
- ワクチンの成分に対して重度のアレルギー反応(アナフィラキシーなど)のある人
- 右記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

### 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症、または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある人
- 過去に、予防接種を受けて2日以内に、発熱や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチン成分に対して、アレルギーが起る恐れがある人
- ※本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に薬剤でアレルギーや過敏反応を起こしたことがある人、また、妊娠中および妊娠している可能性がある人、授乳をしている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。